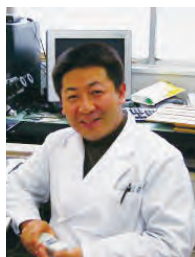


病理専門医プログラム

定員
3名



プログラム責任者
分子病態学・腫瘍病態学講座
大森 泰文 教授

**専門研修
担当者先
連絡先**
南條 博 病院教授
TEL.018-884-6200 FAX.018-884-6200
E-mail hnanjo@med.akita-u.ac.jp
HP <http://www.med.akita-u.ac.jp/~patho/>



プログラムの特徴

1. 病理専門医と細胞診専門医を取得できる。
2. ワークライフバランスに沿ったコース選択が可能である。
3. 特定臓器に片寄らない豊富な症例を経験できる。
4. 臨床各科とのカンファランスが充実している。
5. 研修認定施設を含む関連病院を有している。
6. テレパソロジーを含めた関連病院の診断支援を行っている。
7. 臨床病理学的研究を行える環境が整い、基礎病理学教室と密接に関連しているので学位取得が可能である。

プログラムの説明

概要 各科から提出される生検組織、手術材料の切り出し・診断をバランスよく行うことで全身の病理組織の基礎知識を習得する。

魅力 病理部で行う診断業務は、一見臨床から離れた地味なイメージがありますが、実は患者さんの治療方針や予後に直接的に関わる臨床的な仕事です。日々のカンファランスや、教科書での勉強が診断能力の向上につながり、自分の成長が実感できます。また、自分の時間を持つので一つの疾患をじっくり勉強したい人には最適です。指導医が顕微鏡をみながらマンツーマンで教えてくれます。

専門医、指導医、出身地、施設認定、関連施設など

■各種学会認定専門医数

病理専門医:8名、細胞診専門医:2名

■各種学会施設認定

日本病理学会認定施設、日本臨床細胞学会認定施設

■指導担当医師数と出身大学・出身高校

○病理部…6名

○医局員の主な出身大学医学部…秋田大学、東京大学、東北大学、宮崎大学、佐賀大学、日本医科大学

○出身高校…秋田高校、仙台第二高校、私立武蔵高校、熊谷高校、東明館高校、能代高校、錦城高校、江戸川学園取手高校、大館鳳鳴高校

■主な連携病院

秋田厚生医療センター、秋田赤十字病院、市立秋田総合病院、由利組合総合病院、平鹿総合病院、能代厚生医療センター、大曲厚生医療センター、市立横手病院、雄勝中央病院、中通総合病院、本荘第一病院、秋田県立循環器・脳脊髄センター

取得までのキャリアパス

医学部卒後年数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
Aコース (専門医取得)	初期臨床研修 (大学/連携病院)		主に大学病院/定期的に連携病院で研修 死体解剖医国家資格取得			病理専門医取得 細胞診専門医取得	
Bコース (専門医取得及び学位取得) 社会人大学院3年目入学	初期臨床研修 (大学/連携病院)		大学院(社会人大学院含む) 主に大学病院/定期的に連携病院で研修 死体解剖医国家資格取得				学位取得 病理専門医取得 細胞診専門医取得
Cコース (専門医取得)	初期臨床研修 (大学/連携病院)		主に連携病院/定期的に大学病院で研修 死体解剖医国家資格取得			病理専門医取得 細胞診専門医取得	
Dコース (専門医取得及び学位取得) 社会人大学院3年目入学	初期臨床研修 (大学/連携病院)		大学院(社会人大学院含む) 主に連携病院/定期的に大学病院で研修 死体解剖医国家資格取得				学位取得 病理専門医取得 細胞診専門医取得

※大学に在籍中は、医員として勤務する。 ※連携病院に在籍の場合は、その病院の規定に従い勤務する。